

「再現された俣野別邸見学と崎陽軒のお弁当を楽しむ」

★戸塚駅からバスに乗って直ぐ左手に、「上方見付け跡」があります。

東海道の各宿場の出入口に「見付け」がおかれ、ここで大名行列などを出迎えました。

戸塚宿の京都の方を「上方見付」江戸の方を「江戸見付」といいました。

★戸塚宿から大阪上に上ると老人ホームの前に「お軽勘平戸塚山中道行の碑」が建っています。

お軽勘平は「仮名手本忠臣蔵」の登場人物で、鎌倉から落ち行くふたりが桜と菜の花が咲き乱れる

戸塚山中で見せる美しく華やかな所作が有名です。

★バス停「影取」と「鉄砲宿」について

戸塚区の南端にあり、藤沢市と鎌倉市に隣接する影取町に、不思議な大蛇の伝説が残っています。遊行寺近くの、森というお金持ちの家で、大きな蛇が飼われていました。「おはん」と呼ばれ、かわいがられていましたが、あまりの大食いのため、たまりかねた家人が近くの池に捨ててしまいました。お腹をすかせた蛇は、池の水に映る旅人の姿を捕らえては、その影を飲み込んで飢えをしのぐようになりました。すると次第に、池のそばを通ると大蛇に影を飲まれ、数日もたたずに死んでしまうといううわさが広まるようになり、困りはてた村人たちは、鉄砲の名人に頼んで退治することにしました。ところが賢い蛇は用心してなかなか姿を現しません。そこで名人は、飼われていたころの呼び名を聞き、「おはんさん」と声をかけてみました。森家から迎えが来たと思い喜んで姿を現した大蛇は、名人に撃ち殺されてしまいました。それ以来、大蛇が住んでいた池を影取池、撃ち殺された辺りを鉄砲宿と呼ぶようになったということです。



★俣野別邸と俣野別邸庭園については、同封のパフレットを参照ください。

★お昼は俣野別邸庭園にて崎陽軒のお弁当をいただきます。



★崎陽軒のお弁当について、以下のメニューからお選びいただき、返信葉書にご記入ください：

- ① 定番の駅弁・シウマイ弁当・・・・・・・・・・2, 200円 -700円=1, 500円
- ② 炒飯弁当・・・・・・・・・・・・・・・・・・2, 200円 -700円=1, 500円
- ③ 横濱中華弁当・・・・・・・・・・・・・・・・2, 400円 -700円=1, 700円
- ④ 幕の内弁当・・・・・・・・・・・・・・・・2, 400円 -700円=1, 700円

上記の金額には運営管理費、俣野別邸団体見学科、お弁当代、お茶代、資料代、など参加費の一切を含みます。